

会派未来からの緊急要請について

平素は、本市教育行政にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和7年5月27日に石垣市議会の会派である未来から緊急要請をいただき、このことについて、翌々日の地元紙で報道されました。内容が学校施設の修繕に関するものであり、報道を通して知った保護者等におかれましては、不安を感じることもあろうかと思われまます。本市教育委員会といたしましては、既に修繕が済んでいるものや、現在既に予算も含めて取組が進んでいるものもありますので、当該要請に対する本市教育委員会の見解について、ご説明申し上げます。

当該要請では、以下のご指摘（要約）をいただいておりますので、それに対する教育委員会の対応をご説明します。

- (1) 指摘事項：令和6年12月、石垣中学校体育館の舞台どんちょうのワイヤーが切れた。

教育委員会の対応：事案発生日に石垣中学校から報告を受け、即座に現場確認を行うとともに業者に修繕依頼を行い、翌月には修繕を完了しております。

なお、どんちょうのワイヤーに関しては、法定点検の対象ではありませんが、各学校には設備等の不具合について日頃から点検をしていただき、不具合があれば教育委員会に報告をしていただくよう依頼しております。

また、今回ご指摘をいただき、各学校には、ワイヤーなどの点検を改めて依頼したところであり、報告内容に応じて、適切に対応してまいります。

- (2) 指摘事項：八島小学校体育館において、屋根の雨漏りと天井鉄部の腐食に伴うコンクリート剥離がある。

教育委員会の対応：八島小学校の体育館の状況につきましては、教育委員会としても承知をしており、工事に必要な設計に既に着手し、令和7年3月に終えたところでありまます。今

後は、その設計に基づく工事を実施することとなり、その予算の確保に向けて既に調整を進めているところでもあります。

- (3) 指摘事項：平真小学校の天井ピロティのモルタルが剥落した。
構造健全度が最低ランク（D判定）である。

教育委員会の対応：平真小学校の天井モルタルの剥落につきましては、今から14年前の平成23年の事案になります。これにつきましては、危険部位を叩き落すなどの処理をしております。

モルタルなどにつきましては、経年劣化により老朽化が進んでいくことから、各学校には、日常的な点検において、随時の報告を依頼しております。現在においても、剥落等の気になる箇所がある場合には、学校から報告をいただき、即座に現場確認をするとともに、落下地点への立ち入りを防ぐ注意喚起、危険部位の叩き落とし、落下防止ネットの設置など対策を講じております。規模によっては専門業者に依頼をし、抜本的な対策も含めて対応しているところでもあります。

また、対策にかかる予算についても既に調整を進めているところでもあります。

健全度につきましては、建物の劣化具合を示した指標であることから、建設されて時間が経てば、当然ながら建物の劣化は進み、評価は落ちてきます。

本市の学校は1980年代に建てられた建物が多く、相当程度の築年数が経っていることから、健全度は低く、評価対象の部位によっては最低ランクであるD判定の評価が出るものもあります。

この状況に対して、教育委員会としては、劣化度調査を行い、学校の状況を把握した上で、それを踏まえた施設整備の基本的な方針である長寿命化計画を策定し、施設整備に取り組んでいるところでもあります。

また、以下の要請をいただいておりますので、それに対する教育委員会の見解をお示しいたします。

1) 要請事項：石垣中学校を含む全学校体育館の舞台設備（ワイヤー・モーター・吊具等）緊急総点検と結果公表

教育委員会の見解：舞台設備も含めて設備等につきましては、日頃から各学校より報告をいただき、対応しているところであります。今回の舞台設備についても同様であり、既に修繕が済んでおります。

今回、ご指摘をいただいたことも踏まえて、各学校には、ワイヤーなどの点検を改めて依頼したところであります。結果の公表につきましては、各学校からの報告内容を確認しながら、検討してまいります。

2) 要請事項：八島・平真ほか老朽校舎の剥離防止ネット設置など危険箇所の即時措置、および根本的修繕

教育委員会の見解：モルタルなどの剥落につきましては、各学校は剥落する前に気になる箇所として教育委員会に報告をいただいております。教育委員会は即座に現場を確認するとともに、落下地点への立ち入りを防ぐ注意喚起、危険部位の叩き落とし、落下防止ネットの設置など対策を講じております。また、工事を実施するなど根本的な対策にも取り組んできたところであり、予算についても既に調整を進めているところであります。

引き続き、安全な環境づくりに努めてまいります。

3) 要請事項：旧耐震基準建物の耐震診断未実施棟の早期診断と補強計画の前倒し

教育委員会の見解：建物の耐震性につきましては、建設された年が1981年（昭和56年）以前であれば、旧耐震基準となっております。本市においては、1980年台に建設された学校施設が多いことから、旧耐震基準の建物も複数存在しております。これにつきましては診断を実施し、耐震補強など必要な対策を講じてきたところであります。今年度に長寿命化計画の見

直しを実施することから、その作業において、診断未実施棟の抽出や補強計画等の対策などについて検討をする予定であります。

4) 要請事項：施設点検・修繕履歴を保護者および議会へ定期的の開示する制度化

教育委員会の見解：施設につきましては、各学校は日頃から気になるところを教育委員会にその都度報告をし、教育委員会はその都度修繕など対応しているところであります。
施設点検・修繕履歴の定期的な開示につきましては、必要性など検討してまいります。

5) 要請事項：修繕予算の優先配分に関する方針見直しと責任体制の明確化

教育委員会の見解：修繕にかかる予算につきましては、各学校からの要請を基本に必要な修繕箇所を整理しながら、予算確保に努めているところであります。
予算の確保・執行及びそれにかかる責任体制につきましては、組織として対応しているところであり、引き続き、学校施設の適切な維持管理に努めてまいります。

6) 要請事項：木製トイレドアの著しい劣化や開閉困難な状態が確認されている箇所について、水回り環境に適した耐湿性・耐腐食性に優れたトイレ用建材への交換を行い、衛生・安全両面から早期修繕を実施すること。

教育委員会の見解：修繕に際しましては、環境に応じた材料や工法などを考慮しながらも、他の修繕見込みやそれに伴う予算状況も見ながら対応していく必要があります。場合によっては資材が高額となり、他の修繕が出来なくなる可能性もあることから、環境や予算など多角的な視点を持って、少しでも多く修繕箇所に対応できるよう引き続き取り組

んでまいります。

以上が本市教育委員会の見解であります。このたびいただいた要請につきましては、真摯に受け止め、引き続き、適切な維持管理を通して、学校環境の充実に努めてまいります。

令和7年6月2日
石垣市教育長 崎山 晃